

「CiRA」への道

星野学園小学校 六年 湯本 千穂

私はずっと医師になりたいと思っていました。そんな時、新型コロナウイルスが流行してしまいました。パンデミックという言葉を知ったのです。私は不安で一杯になりました。でも、コロナが流行ってから、たった一年でワクチン接種が始まりました。こんなにも早くとても驚きました。という事は、このパンデミックがある程度予測して準備してきた人がいるのではないのでしょうか。おそらく何十年前前から研究して、その事を応用したワクチンなのだと思います。このワクチンのお陰で、世界中の人が助かると思うと本当に安心しました。その時、私は医師をしながら研究をする研究医になろうと決心しました。そうすれば、目の前の患者さんを治すだけでなく、研究成果を出して地球の裏側の患者さんまでも治す事が可能になります。特にコロナは、ニュースを見ていると

人によって症状が違うそうです。私はいつも、ノーベル賞を受賞した山中伸弥教授が発見したiPS細胞の動画を見ているのですが、コロナの治療にはこのiPS細胞が使えるのではないかと思っています。iPS細胞とは、ある人からとった皮膚などの細胞を初期化して、目や血液、心臓などの他の臓器の細胞にできるようにしたもの。この理論でいけば、コロナで傷付いてしまった肺を再生したり、症状にあった薬を創る事が出来るのではないのでしょうか。

それを私が研究するには、山中教授が所長を勤めるiPS細胞研究「CiRA」に就職するのが一番の近道だと思います。「CiRA」のHPを調べてみると、約二百五十人の人が働いていて、オンラインボになっている為、他の研究員の実験を見れるし、いろいろなディスカッションもできそうなので、本当に楽しそう

です。通常であれば見学できたり、イベントなども開催されている様なので中学生になったら、ぜひ参加したいです。採用情報を見てみると、「医歯薬理工学系の博士の学位を有する方」と書いてあったので、今から一生懸命勉強して取りたいと思います。また、論文を書いたり読んだりするための英語力は、英検一級まで取る事で身につける予定です。山中教授の動画の講義は小学生の私にも分かりやすく、面白いこともおっしゃるので、笑ってしまいます。私もこの様なプレゼン力を付けたいので、今度の児童会長のあいさつでは、みんなを笑わせたいと思います。

このライフプランシートは未来から逆算して今からすべき事を考えられるので、ワクチンを研究した人と同じ方法だと思います。後はそれに向けて積み上げていくだけです。また、可視化する事で、学費を出してくれる親に、私の本気度を見せる事が出来ましたし、私も本気になりました。

湯本 千穂 のライフプラン

将来なにになりたいか? iPS細胞の研究者
その理由: iPS細胞の研究がしてみたいし、人の役に立ちたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2021年	12(小6)	英検3級を取る 勉強をがんばる	学費 テキスト代
2022年	13(中1)	星野学園中学校 数理数選抜クラスに入学する	
2023年	14(中2)	高校のための勉強を始める 英検準2級に合格する	
2024年	15(中3)	上位10位までに入る	
2025年	16(高1)	星野学園高等学校 数理数選抜クラスに入学する	
2026年	17(高2)	大学入試の勉強を始める 英検2級に合格する	
2027年	18(高3)	本格的な勉強をする 英検準1級に合格する	
2028年	19(大1)	京大医学部に入学 英検1級に合格する	
2029年	20(大2)	基礎医学を学ぶ	入学金 学費 (仕送り)
2030年	21(大3)	臨床医学を学ぶ	
2031年	22(大4)	研究に専念する	
2032年	23(大5)	病院実習をする	
2033年	24(大6)	卒業→国家試験に受かる	
2034年	25(大7)	大学院に入る→博士課程	
2035年	26(大8)	研究をする論文をたくさんかく	
2036年	27(大9)	少壮研究の成果を出していく	
2037年	28(大10)	博士号を取得する CiRAに就職する	

※最後の行は、何歳かの時にならなりたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!